

どんぐり村の こみ・すく通信

令和6年11月11日発行 令和6年度 第16号
更別村コミュニティスクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団の活動を紹介(その11) 職業体験 地域で多くの学びを得て

10月23日、24日に更別中央中学校の2年生24名が、職業体験を行いました。職業や仕事の実際について見学や体験をしたり働く人々と接したりするなかで、将来につながる職業観を養うのが目的です。受け入れ先は、村内21事業所で、たくさんの方々にお世話になりました。【敬称略】



【本間農機】
農機具の整備補助



【ヤマジョウ】
商品を倉庫へ運ぶ作業



【SHIMONO-SUN】
練習用の髪でカーラー巻き



【御食事処あさひ】
調理のお手伝い



【更別村農業協同組合】
じゃがいもの選別作業



【セブンイレブン更別店】
商品の補充作業

- 上記以外に受け入れていただいた事業所様
- 【石村車輛整備工場】
 - 【ヤマジョウガソリンスタンド】
 - 【林自動車整備工場】
 - 【お菓子のニシヤマ】
 - 【中国菜館 翡翠樓】
 - 【めぶきの森カフェトネ】
 - 【コムニの里さらべつ】
 - 【更別村社会福祉協議会】
 - 【更別診療所】
 - 【更別消防署】
 - 【更別幼稚園】
 - 【更別村学校給食センター】
 - 【上更別幼稚園】
 - 【更別小学校】
 - 【上更別小学校】

2日間の体験で子どもたちは、「働く」意味や意義について学びを深めることができました。お忙しい中受け入れていただき、ありがとうございました。

どんぐり村子ども交流会初開催

10月21日、村内の小学5・6年生と中学生全員が更別中央中学校に集い、いじめ根絶に向けた交流会を行いました。

中央中学校生徒会役員が内容を考え進行しました。「更別村いじめをなくそう宣言」をクイズ形式で確認したり、学校生活の一場面を寸劇にして、いじめについて考えたりしました。最後に山内生徒会長が、「いじめはどんなことがあってもしてはいけない。困っている人を見たら助けよう。嫌なことをされたら勇気を出してやめてと言おう」とまとめました。



「柔道の学習」地域の専門家を招いて

10月、更別中央中学校では、体育の授業で「武道」の学習が始まり、1、2学年が「柔道」に取り組みました。中学校には柔道の学習をする環境がないため、村の柔剣道場に移動しての学習です。体育の先生の他に、外部指導者として、柔道の専門家である太田綱基さんに入ってくださいました。太田さんからは柔道の心構え、そして基礎的な技術を分かりやすく教えてもらい、生徒たちは、大変意欲的に柔道の学習に取り組んでいました。



青春時代真っ只中の皆さん、柔道は投げたり投げられたりする競技。だから敬意を払って、相手を敬い、思いやることを大事です。これからは、学校生活を楽しく過ごすことを目指していきましょう。

